平成21年旭市議会第4回定例会会議録

議事日程（第2号）

平成21年11月9日（月曜日）午前10時開議

第1 議案質疑

第2 常任委員会議案付託

第3 常任委員会陳情付託

本日の会議に付した事件

日程第1 議案質疑

日程第2 常任委員会議案付託

日程第3 常任委員会陳情付託

出席議員（21名）

1番	伊藤保	2番	島田和雄
3番	平野忠作	4番	伊藤房代
5番	林七巳	6番	向後悦世
7番	景山岩三郎	8番	滑川公英
9番	嶋田哲純	10番	柴田徹也
11番	木内欽市	12番	佐久間茂樹
13番	日下昭治	14番	平野浩
15番	林俊介	17番	林一雄
18番	高木武雄	19番	嶋田茂樹
20番	向後和夫	22番	林正一郎
26番	林一哉		

欠席議員（1名）

24番 神子功

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	増田雅男
教育長	多田哲雄	病院事務部長	渡辺清一
総務課長	平野哲也	秘書広報課長	米本壽一
企画課長	堀江隆夫	財政課長	加瀬正彦
税務課長	野口徳和	市民課長	増田富雄
環境課長	平野修司	保険年金課長	花香寛源
健康管理課長	小長谷博	社会福祉課長	在田豊
高齢者福祉課長	渡辺輝明	商工観光課長	神原房雄
農水産課長	林清明	建設課長	北村豪輔
都市整備課長	伊藤恒男	下水道課長	佐藤邦雄
会計管理者	高山重幸	消防長	菅谷衛一
水道課長	横山秀喜	庶務課長	浪川敏夫
学校教育課長	平野一男	生涯学習課長	野口國男
国体推進室長	高野晃雄	監査委員局長	林久男
農業委員会事務局長	伊藤浩	国民宿舎支配人	堀川茂博
病院事務次長	石鍋秀和	病院経理課長	鈴木清武

事務局職員出席者

事務局長	加瀬寿一	事務局次長	石毛健一
------	------	-------	------

開議 午前10時 0分

議長（向後和夫） おはようございます。

ただいまの出席議員は21名、議会は成立しました。

これより本日の会議を開きます。

日程第1 議案質疑

議長（向後和夫） 日程第1、議案質疑。

議案の質疑を行います。

議案第1号から議案第12号までの12議案を順次議題といたします。

議案第1号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

議案第2号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

議案第3号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

議案第4号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

議案第5号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

(「なし」の声あり)

議長(向後和夫) 質疑なしと認めます。

議案第6号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

(「なし」の声あり)

議長(向後和夫) 質疑なしと認めます。

議案第7号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

(「なし」の声あり)

議長(向後和夫) 質疑なしと認めます。

議案第8号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

(「なし」の声あり)

議長(向後和夫) 質疑なしと認めます。

議案第9号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

(「なし」の声あり)

議長(向後和夫) 質疑なしと認めます。

議案第10号について、質疑に入ります。

質疑の通告がありますので、発言を許可いたします。

日下昭治議員。

13番(日下昭治) 議案第10号について、確認をさせていただく意味で質疑をさせていただきたいと思います。

この財産取得については、学校給食センター改築事業用地ということで取得するわけですが、計算しますと反当約400万円という価格になるかと思いますが、これらに向けまして、不動産鑑定を実施したのか、しなかったのか。もし、したとすれば、不動産鑑定の結果が幾らに評価されたのか。されないとすれば、何を基準にしてこの価格設定になったのか、その辺を伺いたいと思います。

議長(向後和夫) 日下昭治議員の質疑に対し、答弁を求めます。

学校教育課長。

学校教育課長（平野一男） ご回答申し上げます。

用地の買収価格は、今ご指摘がございましたように、1平方メートル当たり4,000円でございます。この金額は海上中学校の用地と同じ地権者がいることや、海上中に隣接していることなどを考慮して、海上中学校用地と同じ金額で決定をいたしました。

なお、不動産鑑定は実施させていただいております。

以上でございます。

（「価格」の声あり）

学校教育課長（平野一男） 不動産鑑定の価格は、1平方メートル当たり1,300円でございます。

議長（向後和夫） 日下昭治議員。

13番（日下昭治） 多分、1平方当たりの価格、不動産鑑定は1,300円ということは、海上中学校用地のときと同じ価格の不動産鑑定の結果だと思います。そして、それを約3倍、3倍だと390万円ということでございますが、切りのいいところで400万円ということで設定されたかと思えます。当時は合併前になるわけでございますけれども、同様の不動産鑑定の結果だと思いますけれども、現在の情勢の中では、若干田んぼは評価が下がっていると思いますが、全く同じということと、それを併せまして今回約3倍の倍率を掛けて、不動産鑑定の結果でなくして、結果にプラス、掛ける約3倍ですか、そういう価格の設定になっておるかと思えます。

例えば、そのほか公園、旧旭市内の公園用地等については、価格は不動産鑑定の結果をほぼ採用しておると思いますが、今回約3倍、3掛けといいますが、3倍になるというんですか、そういう価格の設定になるわけでございます。海上中学校用地を基準としたということで、そういう価格設定になったかと思いますが、やはり時勢はだいぶ変わっておりますので、その辺は不動産鑑定の結果がそういうことですから、どういうことじゃないですけども、多分不動産鑑定というのも何かできレースみたいな感じがすごくあるわけです。その辺を今後いろんな用地等を取得する場合には、ぜひ考慮していただければなと思えます。

特に、これから考えられるのが、新庁舎の形が今後予想されるかと思えます。建物はともかくとして、用地等のことになるかと思えます。そういった用地を取得する際には、やはりこれからはそういった高いところではなくして、安いところでも結構便利なところがあれば、十分活用できるかと思えますけれども、その辺、今後の将来に向けてぜひ考慮していただき

たい。

それは学校教育課長の問題ではないと思いますが、全体の旭市の問題として、ぜひ考慮していただきたいと思います。あとは、答弁は特に要りません。

議長（向後和夫） 日下昭治議員の質疑を終わります。

続いて、林一雄議員。

17番（林 一雄） おはようございます。

議案第10号、財産の取得についてご質疑をさせていただきます。

取得の相手方に小泉茂さん、その後にはほか2名とありますが、その2名の方の住所と名前をお聞きいたします。また、各3名の方のそれぞれの面積と金額についてお伺いをいたします。

2点目といたしまして、高生の海上中学校の西側のあの場所だとは思いますが、そこに学校給食センター用地として取得をするということに決めた経緯についてお伺いをさせていただきます。

以上、よろしく申し上げます。

議長（向後和夫） 林一雄議員の質疑に対し、答弁を求めます。

学校教育課長。

学校教育課長（平野一男） それでは回答させていただきたいと存じます。

まず、ほか2名の方の住所と氏名でございますが、旭市横根453番地2、渡邊和欣様、もうひとかたは、旭市後草1034番地、浪川雄壽様でございます。

小泉様を含めます3名の方のそれぞれの氏名、面積、金額を順に申し上げます。小泉茂様、3,132平方メートル、1,252万8,000円でございます。渡邊和欣様、1,021平方メートル、408万4,000円でございます。浪川雄壽様、1,021平方メートル、408万4,000円でございます。合計5,174平方メートル、2,069万6,000円になります。

二つ目のご質問でございます。

高生に学校給食センター用地を決めた経緯でございますが、平成20年度に建設委員会を立ち上げまして、候補地を上げて、法令等の規制、さらには環境衛生面、電気、水道など多方面から検討し、最終的に海上中の北側を最適地として選定したものでございます。

以上でございます。

議長（向後和夫） 林一雄議員。

17番（林 一雄） ありがとうございます。

建設委員会を設定して、この場所に決めたということであります。その中で私は、旧海上中学校の跡地が今、空き地となっているわけでございますけれども、この建設委員会では、そういった案は出なかったのでしょうか。なぜそんなことを言うかといいますと、私はあそこの場所が空いているわけですから、あえて新しく用地を求めるよりも、有効な利用活用ではなかろうか、そのように考える1人でございます。市民からの税金は大切に使い、市有地は有効に活用してはと思います。2,069万6,000円、これが建設資金へ回されると思いますけれども、その辺お伺いをいたします。

議長（向後和夫） 林一雄議員の再質疑に対し、答弁を求めます。

学校教育課長。

学校教育課長（平野一男） 海上中学校跡地は候補に上がらなかったのかというご質問に、まずお答えをさせていただきます。

候補の一つとして検討させていただきました。この土地については、宅地に隣接している等の問題もございまして、現在の第一給食センターが、やはり同様の問題を抱えていたというようなこともございまして、それで候補地から外れたという経過でございました。

以上でございます。

議長（向後和夫） 林一雄議員。

17番（林一雄） 今、学校教育課長から、そのような住宅と隣接しているから候補から外れたということでございますけれども、旧旭市にある学校給食センターなんですけれども、やはり住宅地に隣接をしております。今それで稼働しているわけでございます。このことに関しては、あと常任委員会でもう少しお尋ねします。

そこで、明智市長にお伺いをします。

旧海上中学校の跡地というのは、ほかに何か利用を考えているのでしょうか、それをまずお伺いをいたします。

それと、旭市では近年、公園の拡張とか駐車場、また学校の用地として第二中学校や矢指小学校などの多くの市有地を取得しました。市有地も多ければ多いほど維持管理費もかかります。私はもう既に、市有地の空洞化というのが始まっていると思うんです。それは、三つの支所がございましてけれども、駐車場など合併前はそれぞれ必要な駐車場でありましたでしょうが、現在は平日でも三つの支所ともかなり駐車場も使われておりません。

また、これからは保育所や学校の統合など考えられます。明智市長の母校、矢指小学校も北側の土地を取得して校舎を建設し、運動場を整備していく、その計画でございます。それ

を考えると、今後、多分10年から15年後は、生徒の数が急激な減少をします。多分、富浦小学校との統合をしなければという時代になると思われます。そのようなことから、今から市有地について極力抑えていかなければと思いますが、明智市長の考えをお聞かせください。

以上でございます。

議長（向後和夫） 林一雄議員の再々質疑に対し、答弁を求めます。

市長。

市長（明智忠直） 林議員の質疑にお答えを申し上げます。

林議員がおっしゃいましたように、確かに財産、市有地、最近多くなっているというような感じも、私もしているところであります。市長就任後、来年度、行政改革アクションプランを作成するわけでありまして、その財産についての今後持って行き方をどうしたらいいのかなということで、今検討しているところであります。財産の処分を含めた中で、22年度からの行政改革アクションプランの中に盛り込んでいこうと、そのように感じているところであります。

それと、海上中の跡地につきましては、今のところまだ具体的には方向性が出ていませんけれども、地元の問題もありますし、地元との合意という部分も含めて考えていかなければならないと思いますので、その辺も財産の処分ということ全体から考えていくことと、それから地元の対応ということも考えていかなければならないと、そんなように考えているところであります。よろしくお願いします。

議長（向後和夫） 林一雄議員の質疑を終わります。

以上で通告による質疑は終わりました。

議案第10号の質疑を終わります。

議案第11号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

議案第12号について、質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 質疑なしと認めます。

以上で議案の質疑を終わります。

日程第2 常任委員会議案付託

議長（向後和夫） 日程第2、常任委員会議案付託。

これより各常任委員会に議案を付託いたします。

総務常任委員会は、議案第1号中の所管事項、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号の5議案であります。

文教福祉常任委員会は、議案第1号中の所管事項、議案第7号、議案第8号、議案第10号、議案第11号の5議案であります。

建設経済常任委員会は、議案第1号中の所管事項、議案第12号の2議案であります。

公営企業常任委員会は、議案第2号、議案第9号の2議案であります。

以上のとおり付託いたします。

付託いたしました議案は、17日までに審査を終了されますようお願いいたします。

日程第3 常任委員会陳情付託

議長（向後和夫） 日程第3、常任委員会陳情付託。

本定例会までに提出されました陳情は、陳情第6号の1件であります。

配布漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 配布漏れないものと認めます。

これより陳情を付託いたします。

総務常任委員会に陳情第6号の1件を付託いたします。

付託いたしました陳情は、17日までに審査を終了されますようお願いいたします。

議長（向後和夫） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、本会議は11日定刻より開会いたします。

ご苦労さまでございました。

散会 午前10時17分